

「archi+anarchy II II II」

岩崎貴宏、大木裕之、小西紀行、高嶺格、西野達、横山裕一

2018年6月9日(土) - 7月14日(土)

向夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。この度 URANO では、6月9日から7月14日まで、ギャラリーアーティストを紹介するグループ展シリーズの第三弾、「archi+anarchy II II II」を開催いたします。都市や環境、社会の矛盾や可しみを、独特の視点で浮かび上がらせるアーティストたちの作品を一堂に展示します。

「近くへの遠回りー日本・キューバ現代美術展」(6/6～スパイラルガーデン)に参加する**岩崎貴宏**、**高嶺格**、「CHILDHOOD Another banana day for the dream-fish」(6/22～パレ・ド・トーキョー)に参加する**西野達**、**横山裕一**、香港 M+に作品が收藏されたばかりの**大木裕之**、昨年の横浜トリエンナーレでの印象的な展示が記憶に残る**小西紀行**の最新作、未発表作を中心に展示いたします。是非ご期待ください。



1

<展示作家>

岩崎貴宏 (1975年広島県生まれ)

歯ブラシ、タオル、文庫本の葉、ダクトテープなど身の回りの物で、繊細で儂い風景を作り出し、見慣れた日用品を別のイメージに転化することで、固定化された私たちの視点を揺さぶる。昨年第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館での個展が評価され、芸術選奨(美術部門)文部科学大臣新人賞を受賞。6/6からスパイラルガーデンで開催される「近くへの遠回りー日本・キューバ現代美術展」に参加。本展では日本未公開の作品を中心に展示する。

大木裕之 (1964年東京都生まれ)

カメラを手に国内外を旅しながら、移動と日常的思考から生まれる哲学的な言動と、オーヴァーラップなど折り重なるイメージの連続によって、我々の生きるこの世界を捉え、更新と接続を試み続けている。近年は「虹のキャラバンサライ - あいちトリエンナーレ 2016」に参加したほか、香港 M+ にビデオおよびフィルム作品がコレクションされたばかり。本展では、2004年から毎年5月に撮影を続けている「メイ」シリーズの最新作を発表する。

URANO

〒140-0002
東京都品川区東品川1-33-10-3F
TERRADA Art Complex 3F 1-33-10
Higashi-Shinagawa Shinagawa-ku
Tokyo 140-0002 Japan
Tel +81-(0)3-6433-2303
info@urano.tokyo
www.urano.tokyo

1.
左) 西野 達
破壊されたギリシャ彫刻の
シャンデリア、ジョルジュ
2017年
h.150 × w.100 × d.90 cm
ミクストメディア

右) 西野 達
破壊されたギリシャ彫刻の
シャンデリア、ヴィーナス
2017年
h.150 × w.100 × d.90 cm
ミクストメディア

「archi+anarchy II II II」

小西紀行（1980年広島県生まれ）

人間の「群れ」の最小単位としての「家族」について思考し、人物たちの互いの関係や、空間と身体とのバランスは、入念な思考を凝らして、大きくうねる自由な筆致と鮮やかで深い色彩で描かれる。2016年に Prudential Eye Awards ファイナリストにノミネート、2017年には「ヨコハマトリエンナーレ 2017 - 島と星座とガラパゴス」、金沢 21世紀美術館「コレクション展 2 ダイアリー」（2017年）に参加、上海のギャラリー AIKE で大規模な個展が開催されるなど活動の幅を広げている。本展では「ヨコハマトリエンナーレ 2017」で発表した大作および新作を展示する。

高嶺格（1968年鹿児島生まれ）

映像インスタレーション、写真、彫刻の他、近年では自らが構成／演出した舞台作品も手掛け、社会システムや集団意識による潜在的な抑圧や支配を、自らの身体を使った表現で批評的かつアイロニカルに可視化する。6/6 からスパイラルガーデンで開催される「近くへの遠回り—日本・キューバ現代美術展」に参加。「ジャパン・シンドローム〜水戸編」がKADISTのコレクションに収蔵されたばかり。本展では「コンニチハ技術トシテノ美術」(2017年 せんだいメディアテーク)で発表した新作を展示する。

西野達（1960年愛知県生まれ）

街のモニュメントや街路灯などを取り込んで部屋を建築しリビングルームや実際にホテルとして営業するなど、パブリックなものをプライベートに変容させることで日常的な観念を壊し、鑑賞者に強烈な刺激を与える。昨年の西野達 in 別府展、ほか全国各地での大規模な展示の功績が評価され、芸術選奨（美術部門）文部科学大臣賞を受賞。6/22 からパレ・ド・トーキョーで開催される「CHILDHOOD Another banana day for the dream-fish」に参加。本展では「『そこまでやるか』 壮大なプロジェクト」(2017年 21_21 DESINGE SIGHT)で発表した新作を展示する。

横山裕一（1967年宮崎県生まれ）

疾走感のある描線やオノマトペ、途切れることなく描かれる時の流れや独特なキャラクターが特徴の「ネオ漫画」で知られ、著書は日本、フランス、アメリカ、イタリア、スペイン、ロシアなど多数の国で翻訳、出版されている。6/16 からパリの Galerie Anne Barrault でフランス人作家との二人展が開催される。6/22 からはパレ・ド・トーキョーで開催される「CHILDHOOD Another banana day for the dream-fish」にも参加。本展では初期の貴重な人物画を展示する。

つきましては、本展の広報にご協力賜りたく、ここにご案内申し上げます。

<関連展示>

岩崎貴宏、高嶺格

「近くへの遠回り—日本・キューバ現代美術展」

2018年6月6日 - 6月17日

スパイラルガーデン、東京

http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_2635.html

西野達、横山裕一

「CHILDHOOD Another banana day for the dream-fish」

2018年6月22日 - 9月9日

パレ・ド・トーキョー、パリ、フランス

<http://www.palaisdetokyo.com/en/event/childhood>

URANO

〒140-0002

東京都品川区東品川1-33-10-3F

TERRADA Art Complex 3F 1-33-10

Higashi-Shinagawa Shinagawa-ku

Tokyo 140-0002 Japan

Tel +81-(0)3-6433-2303

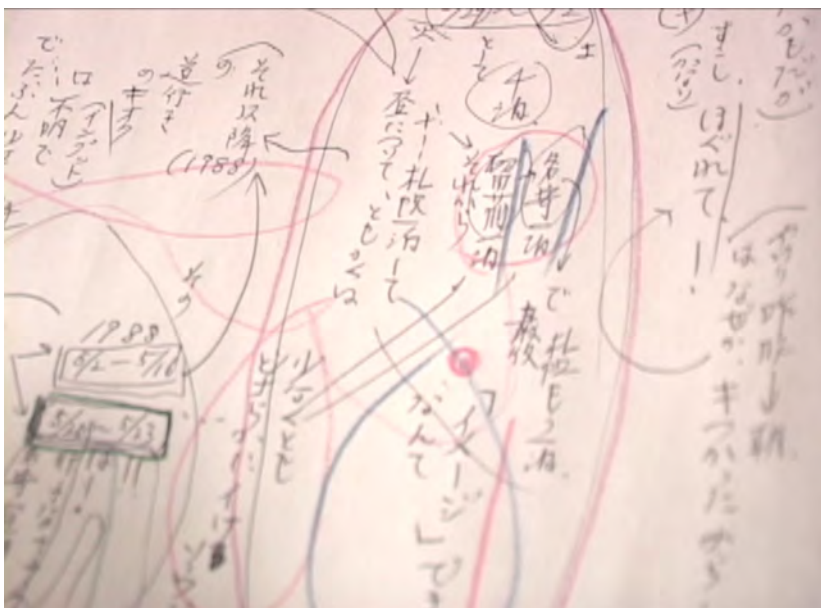
info@urano.tokyo

www.urano.tokyo

「archi+anarchy II II II」



2



3

URANO

〒140-0002
東京都品川区東品川1-33-10-3F
TERRADA Art Complex 3F 1-33-10
Higashi-Shinagawa Shinagawa-ku
Tokyo 140-0002 Japan
Tel +81-(0)3-6433-2303
info@urano.tokyo
www.urano.tokyo

○展覧会概要

展覧会タイトル

「archi + anarchy II II II」

岩崎貴宏、大木裕之、小西紀行、高嶺格、西野達、横山裕一

会期

2018年6月9日(土) - 7月14日(土)

時間

11:00 - 18:00 (金曜 -20:00) / 日曜・月曜・祝日休み

会場

URANO 東京都品川区東品川1-33-10-TERRADA Art Complex3F
+81-(0)3-6433-2303 / info@urano.tokyo / www.urano.tokyo

入場料

無料

2.

岩崎貴宏

アウト・オブ・ディスオーダー (Ferris / Web)

2014年

h.27.5 × w.24.0 × d.7.0 cm

髪の毛

3.

大木裕之

『メイIII』 180604 mix

2018年

8 min. 34sec.

DV